

「ワークシート③ 家から避難場所への経路を確認する」

学習のねらい：家から家族も助けながら生徒が避難できるようにする。

(活用例)

- ・実際に非常用持ち出し品を持っていると考えて歩き、かかった時間や必要な体力を考える。
- ・家に持ち帰り、家族で話合って記入する。
- ・市町や自治会などが防災マップやMy まっぷランの作成等を実施する際に持参する。

(指導上のポイント)

- ◆本冊「3 外出中に大地震が起こったら」で、危険な箇所や危険回避方法について復習させたいうえで、生徒に記入させる。
- ◆生徒に各地域の避難場所を家庭や市町防災担当部署などで確認するよう指導する。
- ◆また、地域によっては、地震と風水害で避難場所が異なっている場合があることも指導する。

※参照：県防災対策部 HP
「避難所・防災マップ」

http://www.bosaimie.jp/resource/1495426761000/X_MIE_ne000

防災ノート(ワークシート③) 高校生版

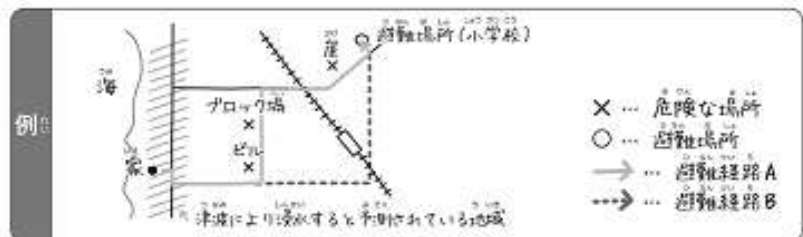


家から避難場所への経路を確認する

家にいるときに、災害が起こった場合の避難場所がどこなのか、あらかじめ調べておきましょう。

調べた避難場所について、家からの経路を下の例にならって描きましょう。また、危険な場所には×をして、何が危険かを書きましょう。(市町や自治会などが防災マップやMy まっぷラン^(注)などを作っている場合は、それも参考にしてください。)

※下記例を参考に記載させる。



※地震避難マップと台風避難マップは違う場合があります。
※災害が起こったとき、皆さんが率先して避難することで他の人の避難を促すことができます。
※避難ルートは複数考えておきましょう。雨の日や夜間に避難する場合も想定してください。
※津波が想定される地域では、少しでも早く海岸から逃げる避難ルートを考えてみましょう。
(注)「Myまっぷラン」は、川口淳准教授(三重大学大学院工学研究科)が提唱する住民一人ひとりが津波避難計画を作成するための手法です。

- ◆避難経路について、家族で話し合い感想を書きましょう。

例) 避難場所までに多くの危険箇所があることが分かった。